

Cortex-M3 用 GNU ツールインストール方法

1. はじめに

本資料は、Cortex-M3 用 μ T-Kernel のコンパイルに利用する GNU ツールのインストール手順について示したものです。本ツールを使って T-Engine フォーラムから配布されている μ T-Kernel のリファレンスコードをビルドすることにより、SK-FM3-48PMC-USBSTICK で実行可能な μ T-Kernel を生成することができます。

2. 注意事項

本 GNU ツールは、SK-FM3-48PMC-USBSTICK で実行可能な μ T-Kernel の生成に利用されることのみを想定しています。これ以外の用途での利用は想定していません。

T-Engine フォーラムは、本ツールに対するサポートは行なっておりません。

3. インストール手順

3.1. CygwinTMのインストール

本 GNU ツールは Windows[®] 上の UNIX エミュレータである CygwinTM 上で実行します。Cygwin の Web ページ (<http://www.cygwin.com/>) を参照して Cygwin をインストールしてください。インストールするパッケージはデフォルトで選択されているものに加えて `make`(Devel カテゴリにあります)が必要です。

3.2. GNU ツールのインストール

注意:

/usr/local/cortex-m3 ディレクトリ配下にすでにファイルがある場合は、本ツールのインストールによって誤ってファイルが上書きされることが無いよう、事前にディレクトリ名を変更するなどの処置を行ってください。

(1) GNU ツールのインストール

Web ページからダウンロードしたアーカイブファイル(devenv_cortex-m3.tgz)を/usr/local ディレクトリにコピーし展開すると/usr/local/cortex-m3 ディレクトリ配下に GNU ツールがインストールされます。

```
$ cd /usr/local
$ tar xzf devenv_cortex-m3.tgz
```

(2) 環境変数の設定

GNU ツールをインストールした後、利用する環境に合わせて以下の環境変数を定義します。

BD	μ T-Kernel のベースディレクトリ μ T-Kernel をインストールしたディレクトリを設定します。 例) /usr/local/te/utkernel_source
GNU_BD	クロス開発用 GNU 関連ツールのベースディレクトリ 例) /usr/local/cortex-m3/tool/Cygwin-i686
GNUARM_2	Cortex-M3 用 GNU 関連ツールのディレクトリ 例) \$GNU_BD/arm-none-eabi

これ以降の手順については、 μ T-Kernel ソースコード説明書(utkernel.txt)を参照してください。

以上